【授業科目】心理学　　Psychology

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
小澤 良	１年次 後　期	選　択	２	３０	講　義	／	／	可

授業概要（内容と進め方）及び課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／人間の心のしくみや働き方に関する心理学の基本的な知識を学ぶ。授業では心理学の重要な理論、概念を取り上げるだけでなく、それが日常生活におけるどのような行動に関係するかを説明する。また、こうした心の特性が医療現場における行動にどのような影響を及ぼすのかも解説する。また、不定期に講義内容に関して、小テストを実施し、次回の講義冒頭にてフィードバックをおこなう。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け看護を主体的に学び、人間として自己の成長に努め、専門職としてのキャリアの基礎を形成することができる。」の達成に寄与している。
到達目標（履修者が到達すべき目標）	1. 心理学全般に関する基本的な考え方について説明できる。 2. 心の基本的機能について説明できる。 3. 心の個人差がどのように形成されていくのかについて説明できる。 4. 生得的・経験的に獲得された心理的バイアスが日常における行動に及ぼす影響について理解できる。
時間外学習に必要な内容・時間	日常生活やメディアから心理学に関連することを見つけ出して、参考文献等で調べてみること。また、授業で扱った心理学に関する概念について、疑問に思ったこと、詳しく知りたいと思ったことを参考文献等で調べてみること。 第1回～第10回　環境に適応するための心の基本的機能　（各60分） 第11回～第13回　獲得された情報を基に周囲を認識し環境に能動的に働きかけるための心の機能　（各60分） 第11回～第15回　生得的要因や環境要因によって生じる心の個人差(各60分) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間／1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間／1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間／1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第1回　ガイダンス：心理学とは 第2回　心の生理学的基盤 第3回　二重構造の心 第4回　感覚・知覚 第5回　学習1 (古典的条件づけ) 第6回　学習2 (オペラント条件づけ) 第7回　記憶1(記憶の獲得) 第8回　記憶2 (記憶の変容) 第9回　発達1 (愛着) 第10回　発達2 (社会性の発達) 第11回　対人認知 第12回　認知バイアス1 (判断) 第13回　認知バイアス2 (意志決定) 第14回　心の個人差1 (パーソナリティ) 第15回　心の個人差2 (知能) ※オンデマンド対応の講義日もあり。詳細は授業開始時に説明予定 全て小澤
評価方法 評価基準	1. 単元ごとの小テストの積み上げ…30% 2. 期末のレポート課題…70%
教科書	なし。担当教員が配布する資料を中心とする。
参考書等	カラー版　マイヤーズ　心理学　デヴィッド・マイヤーズ著 西村書店 講義中にも適宜紹介する
学生への助言等	心理学は自分と他者を理解するための入り口となるものです。できるだけ自分の生活や看護と関連付けながら、関心を持って取り組んで頂ければ幸いです。 授業中の飲食・教室の出入り、携帯電話の使用などは禁止します。